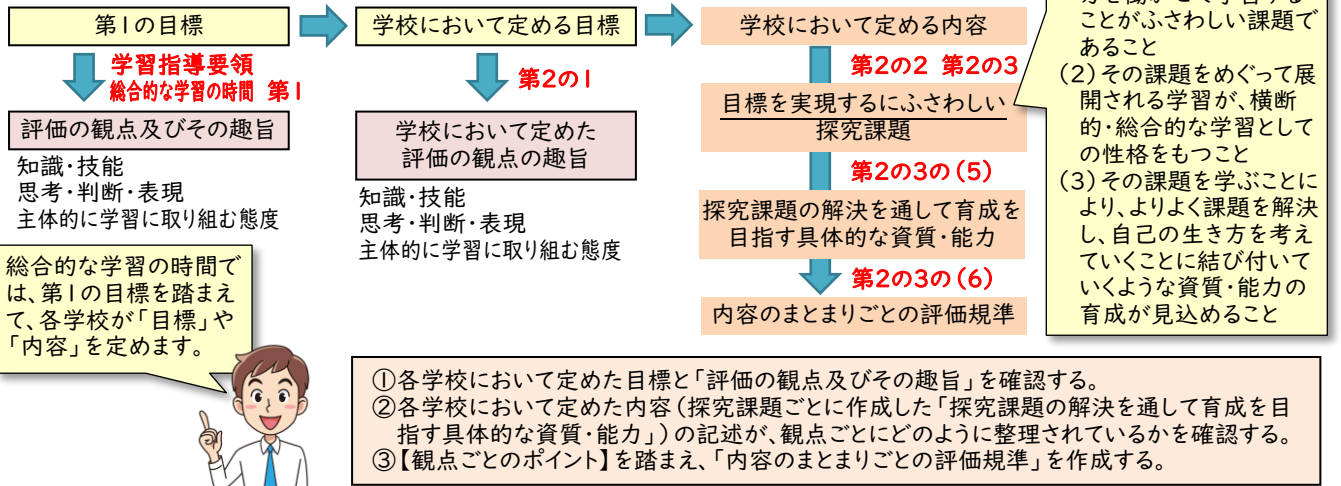


# 小学校 総合的な学習の時間

## 指導と評価のポイント

児童が自ら課題を解決する過程を想定し、探究的な学習のプロセス「①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現」を意識して指導にあたりるとともに、目指す資質・能力が育成されるように、課題の解決や探究的な学習活動が発展的に繰り返されるような学習活動のまとまりを計画することが大切です。

### 1 「内容のまとめりごとの評価規準」の作成の手順



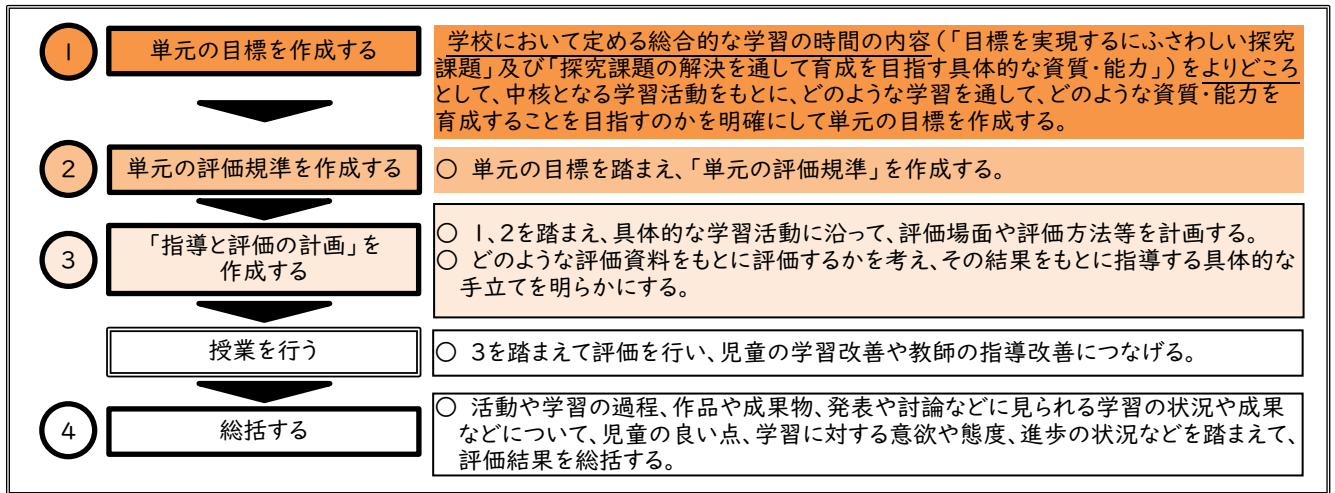
事例 単元名 地域の絆を再生しよう(第6学年) 内容のまとめり「福祉」(全50時間) (参考資料p56)

内容のまとめり			
目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
身の回りの高齢者とそのくらしを支援する仕組みや人々	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化などの地域課題の解決に向けた取組は、地域の理解や協力によって持続可能なものとなることを理解する。(理解している。)</li> <li>・ 調査活動を、目的や対象に応じた適切さで実施することができる。(実施している。)</li> <li>・ 少子高齢化などの地域課題への理解は、高齢者とその暮らしについて探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。(気付いている。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化などの地域課題への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。(もっている。)</li> <li>・ 課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積することができる。(蓄積している。)</li> <li>・ 課題解決に向けて、観点到に合わせて情報を整理し考えることができる。(考えている。)</li> <li>・ 相手や目的に応じて、分かりやすく表現することができる。(表現している。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題解決に向け、自他のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとする。(取り組もうとしている。)</li> <li>・ 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。(学び合おうとしている。)</li> <li>・ 地域との関わりの中で自分にできることを見付けようとする。(見付けようとしている。)</li> </ul>

文末の下線部を( )のようすることで、「内容のまとめり」から「内容のまとめりごとの評価規準」を作成することができます。

単元の目標	
高齢者の孤独の解消に向けた「地域の茶の間」をつくる活動を通して、	学習対象や学習活動
高齢者のくらしを支える人々の取組や思いに気付き、	知識及び技能
「地域の人々が集い交流できる場」の在り方について考えるとともに、	思考力, 判断力, 表現力等
世代を越えて交流していくことの大切さを感じながら生活していくことができるようにする。	学びに向かう力, 人間性等

## 2 学習評価の進め方の手順



単元名	単元の評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域の絆を再生しよう	①「地域の茶の間」は、地域の人と思いを共有し協働してつくることで、持続可能なものとなることを理解している。 <b>①概念的な知識の獲得</b> ②日常的に気持ちのよい挨拶をしたり、分かりやすい話し方をしたりして、高齢者に適切に関わっている。 <b>②自在に活用することが可能な技能の獲得</b> ③高齢者への接し方など自分の行動の変容は、高齢者とその暮らしについて探究的に学んだことによる成果であると気付いている。 <b>③探究的な学習のよさの理解</b>	①地域の高齢者とその暮らしについて、理想との隔たりから課題を設定し、解決に向けて自分にできることを具体的に考えている。 <b>①課題の設定</b> ②課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりしている。 <b>②情報の収集</b> ③持続可能な「地域の茶の間」をつくるために必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら解決に向けて考えている。 <b>③整理・分析</b> ④伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。 <b>④まとめ・表現</b>	①課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとする。 <b>①自己理解・他者理解</b> ②「地域の茶の間」の体験を通して得た知識や自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 <b>②主体性・協働性</b> ③課題解決の状況を振り返り、あきらめずに高齢者の孤独の解消に向けて取り組もうとしている。 <b>③将来展望・社会参画</b>
	各観点の評価規準を作成する際のポイントとなる視点	「内容のまとめりごとの評価規準」を参考に、単元で行う学習活動に即して具体的に記述します。	

小  
総

### 指導と評価の計画

小単元名(時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1 高齢者のさみしい気持ちをなくす「地域の茶の間」をつくろう。(10)	・ 地域の高齢者とその暮らしについて調べ、高齢者の困りごとに気付き、理想と現実の隔たりから学級全員で取り組む課題を設定する。 ・ 必要な情報を調べながら、「地域の茶の間」の計画(場所や日時、プログラム等)を立てる。 ・ 学習課題に照らし、「地域の茶の間」の計画を修正・改善しながら、複数回の「地域の茶の間」を開催する。		①		・ 発言内容 ・ 作文シート
	・ 「地域の茶の間」の活動を振り返り、活動の意味や価値を考えることで、課題を再設定する。 ・ 「地域の茶の間」を持続可能な形で運営しているモデルケースの調査・体験活動を行い、必要な情報を収集する。 ・ モデルケースの特徴を整理し、その背景を分析することで、高齢者のくらしを支える人の工夫や思いについて考える。			②	・ 発言内容 ・ 作文シート
3 高齢者だけではなく地域の人に必要とされる「地域の茶の間」をつくろう。(12)	・ 自分たちが開催した「地域の茶の間」とモデルケースの調査・体験活動を基に、持続可能な「地域の茶の間」の在り方に気付く。	①			・ 発言内容 ・ 作文シート
	・ 持続可能な「地域の茶の間」の実現に向け、必要な情報を集め、場所や日時、プログラム等の計画を立てる。 ・ 学習課題に照らし、持続可能な「地域の茶の間」の計画を修正・改善しながら複数回の「地域の茶の間」を開催する。		②		・ 発言内容 ・ 作文シート ・ 行動観察
4 地域との協働で持続可能な「地域の茶の間」をつくろう。(13)	・ これまでの活動で課題が解決されたかを振り返るとともに、地域の誰と協働すればよいかを考える。			③	・ 発言内容 ・ 作文シート
	・ 地域の人に、協働で持続可能な「地域の茶の間」を継続開催することを働きかける。 ・ これまでの活動を通しての自分の変容を振り返り、作文にまとめる。	③	④		・ 発言内容 ・ 作文シート ・ 作文シート